(郵便物認可)　(本號六頁)　明治二十二年十月廿四日

時事新報

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

時事新報定價
時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊セズ其代價送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送達スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二箇以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷ニ大祭祝日の翌日等偖新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合ハは新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

第二千四百五十二號　木曜日
明治廿二年十月廿四日
(癸酉)
(西暦一千八百八十九年)
暦日巳丑十月朔日
日出午後五時五十六分　入午後四時五十四分
月出午後四時五十九分　入午後五時十五分
潮汐午前四時五十七分　午後五時十五分

時事新報

政黨の機關新聞

政黨は其執る所の主義方略を滿天下の人ハ吹聽し成る可く多數の贊成者を得て之を實行せんと期する者ハして其目的を達する爲めハは諸種の手段も入用ある中に特に新聞紙の如きは用の最も廣きものハして之を唯一の機關として功を奏するハと少あらず即ち世に政黨機關新聞の行はるゝ所以なり抑も政治家が其思想を世に公にして天下の贊成を求め又その反對の說を論駁して自說を主張するが如きは青天白日男子の所行にして毫も忌憚する所ある可らず其事たる固より公明正大なれども凡そ新聞紙は其機關さると然らざるとに論なく公然社會の耳目を以て自から任じ一ハび其紙上に記する所の事柄は天下衆人の信ずる所とおりて爲めハ其心を動かすみと少あからざるが故ハ他に對して主義論說の異同は兎も角もなれども事實を記すに至りては常に正確公平を旨として苟くも偏する所ある可らず是れ實に新聞紙の德義にして或は其社會に對するの義務と稱するも可なり然るハ其新聞紙が政黨に連絡して他黨と主義の得失を爭ひ其爭の漸く激烈なるに至るときは記者の眼光時としては事實の長短黑白を誤認し自分には十分公平の積りにても知らず識らずの間ハ偏見に陷るみとなきに非ず胸中の先入、人情に免かれ難き所なれども此邊ハは大に戒心を加へて實際の記事だけは勉めて事實に違ざるなからんみと我輩の切に祈る所なり開く所に據れば西洋諸國の政黨は夫々機關新聞を利用して互に黨略を闘はす中にも英國の如きは其最も盛なるものハして政事上に事件の生ずるときは各黨互に新聞を以て相挑戰する有樣は實に目覺しき事なれども其戰たる互ハ主義方略上に爭ふのみにして事實の報道に至りては何れの新聞も正確を旨とし彼我その臭味を異にするが爲めに有無黑白を顚倒するなどの事は極めて少なく殊ハ其反對なる人々の一身ハ就て卑劣の言語をなすが如きは最も戒むる所なりと云ふ賊に美風と申す可し之ハ反して佛國米國ハどの政黨新聞には時として政敵に乘じ大人しからぬ舉動あるハし我輩は偏に佛米の流弊を戒めて英國の美に倣はんと欲する者なり我國も近來いよ〳〵政黨分立の時世とおりて政治新聞紙中ハは目から其機關たるものもあるが如し既ハ機關を以て自から任ずる上は敢て方に論なく實際にありし事柄は勉めて正確ハ記すの風を養はざる可らず即ち新聞紙の德義にして又自黨の利益ある可けれはなり例へば近時條約改正の問題起りてより或は斷行と云ひ或は中止と云ひ世論紛々として歸する所を知らず願ふに條約改正は國家の大事おり既に其所々堂々その可否を論じ利害を論じ反對者と相抗論するは政黨の本色ハして其間時に或は中庸を過したる言論あるも元と是れ青天白日、男子の事にして愧づる所なし と雖も此際ハ當り唯不偏不黨にして然かも同日同時同地に行はれたる同一の出來事を記するハ其相違の甚しき實に驚く可きものあり蓋し黨派の目鏡を掛て世間を見渡すときは總ての事皆已れの方にのみ都合好く見ゆるものなれば其間に多少依怙の沙汰あるハ人情の免れざる所おらんなれども世人の耳目に明白ある事實を取りて全く反對の觀察を爲すに至ては餘りハ甚だしきものと云はざるを得ず政黨の爭は固より公明正大のものなり其極端ハ至れば時として末流間に穏かならぬ舉動を見るみとなきに非ず聞ふ可しと雖も其新聞の紙上に事實を誤報するに至りては天下の耳目たる任に負き日から其德義を破るものハして更ハ厭惡に堪へず抑も社會の事たるや一日萬機うの變狀思議す可らざるものなれば新聞紙の報道に全く誤認を避けんとするハは固より難きことなれども彼の政黨新聞の如きは其性質ハ於て特に其弊に陷り易き境遇ハ在るものなれば此一事に就ては人の爲め又自家の利益の爲めに一層の注意あらんみと我輩の偏ハ冀望する所なり

時事新報

○小學生徒の奉迎唱歌　皇后陛下ハは今二十四日上野公園内に開設せる教育品展覽會へ行啓あらせらるゝを以て府下の各公立小學校にては總代として就れも唱歌を善くする生徒十名づゝを撰拔して教員之れに附添ひ本日午前十一時ゼに同會場に赴き一同整列して行啓を奉迎し且つ唱歌する都合なりと云ふ

○京都府の補助金請願　此頃北垣京都府知事及田中府會議長は補助金請願の爲め上京したるに付同府下郡部水害の模樣を聞くハ本年の災害は過る十八年の洪水より一層甚敷其損害概表ハすれば其總高百九十四萬九千三百五十七圓八十一錢五厘なり之れを部下の戶數十二萬三千七百九十七戶ハ割れば一戶ハ付十五圓七十四錢六厘なり又其地租高七十二萬千八百四十四圓二十七錢九厘に割れば地租金一圓ハ付二圓七十錢一厘となる而して右總高の内河川道路橋梁等の土木費に係るものハ其高八十五萬千五百九十六圓四[illegible]を同部下の地價金百圓ハ戶數十個とを割等の目安として地租ハ戶數の雨者ハ賦課する時は戶數一戶に付二圓七錢地租金一圓に付八十二錢八厘の割となる然るハ同府郡部道路河川は平常町村ハ放任したるもの多く特に今回の水害は其町村費負擔の部分に多く故に地方稅の支出額は少なきも町村負擔の分多きを以て特に其補助を願したるものなりと云ふ

水害損失金幷に土木費概表

		費目	圓
畑由		家屋家具等	二一六、六八一、〇六五
水害損失		浸水田畑立毛	七七五、一七〇、二五三
全		地盤破壞田畑	六四、四一〇、〇〇〇
全		堤防橋梁工費ハ除ク	一〇九七、七六一、三一八
全		溜池破壞	一八九、七九二、〇九六
計			二一〇、〇〇〇、〇〇〇
地方費負担工費		河川道路	四三五、四七三、六五二
全	地方稅補助ニ繫スル工費	水溜工	一九六、三三〇、七四七
全	町村負担ニ係ル工費	二百二十九川	八五一、五九六、四九七
計		三十六街道	一九四九、三五七、八一五
		堤防	
		道路	
		但溜池堤止ヲ除ク	

○管船局次長中村孟氏　は此の程頃館へ向け出發したる由是は過日同所商船學校の燒失に關する用向ありと

○地所の賣買　條約改正の評判頻に高き折節或投機者が競ふて高臺の地所を買廻るものありて一時は非常の價格迄に引上げらるはどあるが近頃は右中止就もなかゝ盛ある一方には金融の必迫を來して金利の騰貴したるが爲め近々其賣買を減じ昨今に至りては全く絕無とも云ふべき有樣なりと云ふ

○東京瓦斯會社の擴張　同會社の瓦斯管は最初の敷設方極めて不充分にて其漸く遠ざるに從ひ管口次第に細まりたるものゆゑ既ハ淺草邊に遠すれば瓦斯供給の料頗る少量ハて今日の分よりも外に需用者を求るに由なき有樣ありしが今度一層其事業を擴張し淺草、上野の二箇所に支局を置き更に新管を請方ハ敷設し又舊管をも取換へ瓦斯の供給を增して廣く全般の需用に應ずる都合ありと云ふ

○新組合代言人總會　來る廿八丸の兩日午後より東京商工會ハ於て東京新組合代言人の秋季總會を開くよし

○非分縣陳情書の捧呈　信州松本の有志者小里頼永氏外二名の人々は同國南部七郡の分縣請願委員として先き頃上京し該請願書を内務省に差出したる趣既に本紙に記載せしが今又同國飯田よりの通信を見るに小里氏等は南部七郡に於る人民總代の名義を以て上京請願したるも其一方に同分縣を非とするもの多く近日同地方の有志者は非分縣の陳情書を内務大臣に捧呈せんと目下其調印中ありと云ふ

○撰擧人の冷淡　去る十九日京都府下の上下兩京區役所に於て府會議員の補欠撰擧會を開きたるに上京區にては二百十七名の撰擧人中當日投票を爲したる者は僅に五十四人又下京區にては尙是よりも少なく六百八名の撰擧人中當日の投票者は僅々十三名ハして兩區の人民未だ政事思想には甚だ冷淡なるが如しと

○甲武鐵道の收利　甲武鐵道會社にて本年上半季間の收入は意外ハ多額ある由にて利益配當は先づ六朱位の見位ありと云ひ追て立川八王子間の全線路開通に至らば一割以上の收利あるべしとあり

○鐵道合併の協議　常磐鐵道敷設の計畫あるとは既て本紙上に記したるが右は彌々實行の協議整ひたる趣にて水戶鐵道會社へ合併すべしと申出したるものあり目下協議中なるよしなれども到底同社は之を承諾せざるべしと云へり

○銃獵　水鳥は眼に制札の文字を解せざれど耳に銃聲の恐るべきを知ればよろ鷺鷥鴨鳥の類が不忍の池や櫻田の濠を我が安樂窟と爲して雌雄相戲れ餘念なきものゝ如くなれど雛子、山鳥、山鳩の如き山林原野を飛翔する野鳥の類にありては人里離れし所ハ棲息するものなれば朱引以内に身を容るゝ場所なくさりとて水鳥の如く群居する者にあらざれば輙く筒先きに罹らず遊獵人の遠方に出掛けてより常野原總て物少なきハは固より當て開けたるより素早くも掛けしに人の目の寄る丸の群に響きしかと思りて已のが素早きに去ると同地へ赴きし遊獵家

○齒磨シャポン　今云へるハは口中を清潔ハし粉製ハは十五錢、煉製ハは

米國の人情風俗

第二十九　市街の費

フィラデルフィヤ府ハは合衆國富豪國の屬地たりし時和蘭の無暗に本國に行くを盟つて英國の產物を輸しも此所なり降つて今も此所なり苦輩全く攻き行政には大統領を設るも此所なり人口八九の如く直角を爲す國内墓頓の國會議事堂ハ次共公園は類稀なる美觀を合計すれば六十英里西部の繁忙雜沓なる都單純なるの思ひあれどハして人氣概ね實直ある

シカゴ府

ミシガン湖畔に木造の大なる都會あり之をシカゴ八百七十一年十月八日んとランプを携へて牛蹴覆したる爲め火を失れり然るに其後燒け太家は研き上げたる石造を存せず木造出火前の來の客の爲めに一戶を國の都會は比々皆此なミンチポリス等も二十數すべく引續いてシンヴィル等も亦以上の請も角もシカゴ府は其に足るべきものか市街は八層十層乃至十二層街路の直線七英里にあり燈光銀照其間に映に一刻千金の價あるべは古代の風あり或は近らゆる建築風を網羅したる樣は流石米人のたるものゝ如し偖又屋は當に府民の富貴を知の高會にして文學美術べし衣食足りて禮讓を